

分野	項目	内訳	単位	セコムグループ		
				2016年度	2017年度	2018年度
環境	温室効果ガス (GHG) 排出量	GHG総排出量(スコープ1+2+3)	千t-CO <sub>2</sub> e	-	-	1,145.74
		GHG排出量(スコープ1+2)	千t-CO <sub>2</sub> e	177.27	174.20	179.09
		GHG排出量スコープ1(直接排出)	千t-CO <sub>2</sub> e	56.05	55.25	54.46
		うち二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	千t-CO <sub>2</sub>	54.96	54.25	52.83
		うちメタン(CH <sub>4</sub> )	千t-CO <sub>2</sub> e	0.03	0.05	0.05
		うち一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)=亜酸化窒素	千t-CO <sub>2</sub> e	0.75	0.91	1.22
		うちハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	千t-CO <sub>2</sub> e	0.31	0.05	0.36
		うちパーフルオロカーボン類(PFCs)	千t-CO <sub>2</sub> e	0.00	0.00	0.00
		うち六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	千t-CO <sub>2</sub> e	0.00	0.00	0.00
		うち三フッ化窒素(NF <sub>3</sub> )	千t-CO <sub>2</sub> e	0.00	0.00	0.00
		GHG排出量スコープ2(間接排出)	千t-CO <sub>2</sub> e	121.23	118.95	124.62
	うち二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	千t-CO <sub>2</sub>	121.23	118.95	124.62	
	GHG排出量スコープ3(社外における間接排出)	千t-CO <sub>2</sub> e	-	-	966.65	
	航空機および自動車等での出張・移動に伴うGHG排出量	千t-CO <sub>2</sub> e	-	-	6.08	
	大気	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量	t-CO <sub>2</sub>	176,183.99	173,197.59	177,456.56
		メタン(CH <sub>4</sub> )排出量	t-CH <sub>4</sub>	1.88	1.81	2.11
		一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)=亜酸化窒素排出量	t-N <sub>2</sub> O	3.13	3.05	4.09
		六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )排出量	t-SF <sub>6</sub>	0.00	0.00	0.00
		酸化窒素(NO <sub>x</sub> )排出量	t-NO <sub>x</sub>	14.82	12.76	14.94
		二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )排出量	t-SO <sub>2</sub>	0.00	0.00	0.00
		硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> )排出量	t-SO <sub>x</sub>	0.00	0.00	0.00
		揮発性有機化合物(VOC)排出量	t-VOC	0.00	0.00	0.00
		一酸化炭素(CO)排出量	t-CO	0.00	0.00	0.00
		オゾン層破壊物質(ODS)排出量	t-ODS	0.00	0.00	0.00
		微粒子状物質(PM)排出量	t	0.33	0.29	0.34
		エネルギー	エネルギー消費量合計(熱量換算)	GJ	2,891,653.51	3,130,082.93
	電気	電力購入量	MWh	207,419.05	232,243.54	244,790.64
再生可能エネルギー使用量		MWh	1,130.92	135.16	1,614.30	
うち自社発電量		MWh	129.92	135.16	114.30	
燃料	石炭・褐炭使用量	千t	0.00	0.00	0.00	
	都市ガス使用量	千m <sup>3</sup>	617.75	785.53	754.82	
	LPG使用量	千m <sup>3</sup>	83.18	83.94	84.19	
	灯油使用量	千L	426.58	390.92	377.64	
	A重油使用量	千L	257.48	244.71	261.00	
	ガソリン使用量	千L	12,711.26	12,401.49	11,968.40	
	軽油使用量	千L	8,364.99	8,300.57	8,176.48	
	オートガス使用量	千L	44.13	9.01	6.55	
	ヘリ燃料使用量	千L	51.68	44.32	31.62	
水	水資源投入量(取得量)	千m <sup>3</sup>	836.95	839.49	890.80	
	うち地方自治体水	千m <sup>3</sup>	786.37	795.24	852.07	
	うち地表水	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	うち地下水	千m <sup>3</sup>	46.57	40.89	35.60	
	うち塩水	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	うち雨水	千m <sup>3</sup>	4.00	3.35	3.14	
	製造使用水量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	リサイクル水量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	リサイクル比率	%	0.00	0.00	0.00	
	水消費量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
	排水量	千m <sup>3</sup>	836.95	839.49	890.80	
液体廃棄物排水量	千m <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00		
紙	紙消費量	t	-	-	948.89	
	紙リサイクル量	t	321.20	315.70	2,405.09	
車両	低燃費車導入率	%	74.74	80.11	84.20	
廃棄物	総廃棄物量	t	11,282.62	9,868.57	12,413.06	
	うち産業廃棄物量	t	8,405.48	7,489.73	7,705.23	
	うち有価物量	t	1,803.27	1,290.58	1,499.65	
	うちリサイクル量	t	1,073.87	1,088.27	3,208.17	
	最終処分量	t	0.09	0.05	0.07	
	有害廃棄物量 (PCB含有電気機器)	t	0.53	0.00	0.00	

分野	項目	内訳	単位	セコムグループ		
				2016年度	2017年度	2018年度
環境	汚染	有害物質漏流回数	回	0	0	0
		有害物質漏流量	t	0	0	0
	コンプライアンス	環境違法罰金回数	回	0	0	0
		環境違法罰金額	円	0	0	0
	マネジメント	ISO14001 認証サイト	箇所	-	-	124
	ガバナンス	GHG排出量第三者検証スコープ1,2 ※2		-	-	取得
		GHG排出量第三者検証スコープ3 ※2		-	-	取得
	原単位	売上高(百万円)あたりのGHG排出量(スコープ1+2)	t-CO2e/百万円	0.191	0.179	0.177
		売上高(百万円)あたりのCO2排出量(スコープ1+2)	t-CO2/百万円	0.190	0.178	0.175
		売上高(百万円)あたりのエネルギー消費量	GJ/百万円	3.116	3.225	3.186
		売上高(百万円)あたりの水資源投入量	m <sup>3</sup> /百万円	0.902	0.865	0.879
		売上高(百万円)あたりの総廃棄物量	kg/百万円	12.16	10.17	12.24
		従業員1人あたりのCO2排出量(スコープ1+2)	t-CO2/人	4.09	3.15	3.12
		四輪車両1台あたりのCO2排出量	t-CO2/台	5.86	5.73	5.48
	1ギガジュールあたりのGHG排出量(スコープ1+2)	t-CO2e/GJ	0.061	0.056	0.055	

温室効果ガス排出量はロケーション基準を用いて算出しています。

分野	項目	内訳	単位	セキュリティ事業 ※1		
				2016年度	2017年度	2018年度
環境	温室効果ガス (GHG) 排出量	GHG総排出量(スコープ1+2+3)	千t-CO2e	533.15	534.01	-
		GHG排出量(スコープ1+2)	千t-CO2e	81.51	76.75	74.91
		GHG排出量スコープ1(直接排出)	千t-CO2e	44.48	44.08	43.08
		うち二酸化炭素(CO2)	千t-CO2	43.64	43.11	41.97
		うちメタン(CH4)	千t-CO2e	0.03	0.05	0.04
		うち一酸化二窒素(N2O)=亜酸化窒素	千t-CO2e	0.75	0.91	0.88
		うちハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	千t-CO2e	0.05	0.02	0.19
		うちパーフルオロカーボン類(PFCs)	千t-CO2e	0.00	0.00	0.00
		うち六フッ化硫黄(SF6)	千t-CO2e	0.00	0.00	0.00
		うち三フッ化窒素(NF3)	千t-CO2e	0.00	0.00	0.00
		GHG排出量スコープ2(間接排出)	千t-CO2e	37.03	32.67	31.83
	うち二酸化炭素(CO2)	千t-CO2	37.03	32.67	31.83	
	GHG排出量スコープ3(社外における間接排出)	千t-CO2e	451.64	457.26	-	
	航空機および自動車等での出張・移動に伴うGHG排出量	千t-CO2e	2.60	2.57	-	
	大気	二酸化炭素(CO2)排出量	t-CO2	80,673.02	75,777.03	73,800.89
		メタン(CH4)排出量	t-CH4	1.88	1.81	1.62
		一酸化二窒素(N2O)=亜酸化窒素排出量	t-N2O	3.13	3.05	2.96
		六フッ化硫黄(SF6)排出量	t-SF6	0.00	0.00	0.00
		酸化窒素(NOx)排出量	t-NOx	14.82	12.76	13.68
		二酸化硫黄(SO2)排出量	t-SO2	0.00	0.00	0.00
硫黄酸化物(SOx)排出量		t-SOx	0.00	0.00	0.00	
揮発性有機化合物(VOC)排出量		t-VOC	0.00	0.00	0.00	
一酸化炭素(CO)排出量		t-CO	0.00	0.00	0.00	
オゾン層破壊物質(ODS)排出量		t-ODS	0.00	0.00	0.00	
微粒子状物質(PM)排出量		t	0.33	0.29	0.31	
エネルギー	エネルギー消費量合計(熱量換算)	GJ	1,276,483.78	1,276,123.20	1,257,768.13	
電気	電力購入量	MWh	63,083.96	63,805.05	63,643.53	
	再生可能エネルギー使用量	MWh	1.00	0.00	1,500.00	
	うち自社発電量	MWh	0.00	0.00	0.00	
燃料	石炭・褐炭使用量	千t	0.00	0.00	0.00	
	都市ガス使用量	千m3	204.32	243.93	236.81	
	LPG使用量	千m3	34.86	35.24	34.34	
	灯油使用量	千L	405.68	371.45	360.41	
	A重油使用量	千L	17.15	17.46	17.04	
	ガソリン使用量	千L	9,398.02	9,060.55	8,668.52	
	軽油使用量	千L	7,733.23	7,834.50	7,779.99	
	オートガス使用量	千L	11.82	9.01	6.55	
	ヘリ燃料使用量	千L	51.68	44.32	31.62	
水	水資源投入量(取得量)	千m3	196.52	198.47	210.97	
	うち地方自治体水	千m3	192.52	195.12	207.84	
	うち地表水	千m3	0.00	0.00	0.00	
	うち地下水	千m3	0.00	0.00	0.00	
	うち塩水	千m3	0.00	0.00	0.00	
	うち雨水	千m3	4.00	3.35	3.14	
	製造使用水量	千m3	0.00	0.00	0.00	
	リサイクル水量	千m3	0.00	0.00	0.00	
	リサイクル比率	%	0.00	0.00	0.00	
	水消費量	千m3	0.00	0.00	0.00	
	排水量	千m3	196.52	198.47	210.97	
液体廃棄物排水量	千m3	0.00	0.00	0.00		
紙	紙消費量	t	518.16	515.13	514.34	
	紙リサイクル量	t	164.53	179.86	284.61	
車両	低燃費車導入率	%	76.15	83.81	87.13	
廃棄物	総廃棄物量	t	4,660.80	4,628.95	5,335.49	
	うち産業廃棄物量	t	3,080.25	3,151.14	3,719.46	
	うち有価物量	t	1,051.62	922.12	901.50	
	うちリサイクル量	t	528.93	555.69	714.52	
	最終処分量	t	0.09	0.05	0.07	
	有害廃棄物量 (PCB含有電気機器)	t	0.53	0.00	0.00	


分野	項目	内訳	単位	セキュリティ事業 ※1		
				2016年度	2017年度	2018年度
環境	汚染	有害物質漏洩回数	回	0	0	0
		有害物質漏洩量	t	0	0	0
	コンプライアンス	環境違法罰金回数	回	0	0	0
		環境違法罰金額	円	0	0	0
	マネジメント	ISO14001 認証サイト	箇所	35	39	40
	ガバナンス	GHG排出量第三者検証スコープ1,2 ※2		取得	取得	-
		GHG排出量第三者検証スコープ3 ※2		取得	取得	-
	原単位	売上高(百万円)あたりのGHG排出量(スコープ1+2)	t-CO2e/百万円	0.176	0.163	0.157
		売上高(百万円)あたりのCO2排出量(スコープ1+2)	t-CO2/百万円	0.174	0.161	0.154
		売上高(百万円)あたりのエネルギー消費量	GJ/百万円	2.759	2.713	2.629
		売上高(百万円)あたりの水資源投入量	m3/百万円	0.425	0.422	0.441
		売上高(百万円)あたりの総廃棄物量	kg/百万円	10.07	9.84	11.15
		従業員1人あたりのCO2排出量(スコープ1+2)	t-CO2/人	3.12	2.89	2.78
		四輪車両1台あたりのCO2排出量	t-CO2/台	6.84	6.72	6.64
	1ギガジュールあたりのGHG排出量(スコープ1+2)	t-CO2e/GJ	0.064	0.060	0.060	

温室効果ガス排出量は、ロケーション基準を用いて算出しています。

※1 セキュリティ事業とは、CO2排出量削減をKPI(主要業績評価指標)とする以下の27社です。

- ・セコム株式会社
- ・セコムジャスティック株式会社
- ・セコムスタティック西日本株式会社
- ・セコム上信越株式会社
- ・セコムジャスティック上信越株式会社
- ・セコムスタティック琉球株式会社
- ・セコム北陸株式会社
- ・セコムジャスティック北陸株式会社
- ・セコムテクノ上信越株式会社
- ・セコム山梨株式会社
- ・セコムジャスティック山梨株式会社
- ・セコムテック山陰株式会社
- ・セコム三重株式会社
- ・セコムジャスティック山陰株式会社
- ・セコムアルファ株式会社
- ・セコム山陰株式会社
- ・セコムジャスティック高知株式会社
- ・セコム工業株式会社
- ・セコム高知株式会社
- ・セコムジャスティック宮崎株式会社
- ・株式会社アサヒセキュリティ
- ・セコム宮崎株式会社
- ・セコムスタティック北海道株式会社
- ・セコム琉球株式会社
- ・セコムスタティック東北株式会社
- ・セコム佐渡株式会社
- ・セコムスタティック関西株式会社

※2 検証報告書

	発行日: 2019年7月26日 第 1811003508 号
<h3>温室効果ガス排出量検証報告書</h3>	
セコム株式会社 様	
<p><b>1. 検証の対象</b></p> 一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、セコム株式会社が作成した「2018年度スコープ1、2、3 GHG 排出量 算定報告書」(以下、「算定報告書」という。)に記載された2018年度の温室効果ガス(GHG)排出量が、同社により作成された「セコムグループ 温室効果ガス排出量算定ルール(第8版、2019年7月1日)」(以下、「同社算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。                 検証の目的は、「算定報告書」の2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)の温室効果ガス排出量を客観的に評価し、同社の温室効果ガス排出量の算定の信頼性をより高めることにある。	
<p><b>2. 実施した検証の概要</b></p> 当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は Scope1、2 のエネルギー起源の二酸化炭素排出量及び Scope3 の温室効果ガス排出量である。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は総排出量の 5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、Scope1,2においては、セコムグループ国内 114 社、Scope3においては、カテゴリ 3,5,8,9,10,14 は、セコムグループ国内 114 社、カテゴリ 7,11,12,13,15 はセコムグループ主要連結会社 40 社、カテゴリ 1,2,4,6 は、セコムグループ主要連結 17 社である。                 Scope1 及び 2 の検証手続きにおいては、セコム株式会社 セコム SC センター、セコム工業株式会社 本社、株式会社アット東京 中央センター、セコム医療システム株式会社 本社の 4 拠点を現地検証の対象とし、算定対象範囲の確認、エネルギー使用量監視点の確認、算定集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。なお、現地検証の対象とした拠点及び拠点数の決定はセコム株式会社が実施した。                 算定ルールの確認及び Scope3 に関する検証手続きは、セコム株式会社 本社において実施し、算定シナリオの確認、算定集計体制の確認及び排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。	
<p><b>3. 検証の結論</b></p> 検証の対象とした、「算定報告書」のセコムグループの国内 114 社の温室効果ガス排出量において、「同社算定ルール」に準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。	
<p><b>4. 留意事項</b></p> 「算定報告書」の作成責任はセコム株式会社にあり、温室効果ガス排出量検証の結論に関する責任は当機構にある。セコム株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。	
東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地 一般財団法人日本品質保証機構 理事 浅田 純 男	

2018年度環境会計 — セキュリティ事業 —

セコムでは、環境保全に要した投資額・費用と効果を定量的に把握して、より適切な環境保全活動を行うために「環境会計」に取り組んでいます。

- ・環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」に準拠して、作成しています。
- ・環境保全効果は、セキュリティ事業における直接的なインプットとアウトプットの合計で、「将来の見なし削減効果」や「製品の省電力化によるお客様ご使用時の削減効果」は含みません。

○環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組み内容	環境保全コスト	
		投資額	費用額※
事業エリア内コスト	①公害防止 —大気汚染、騒音、振動防止等	0	96,654
	②地球環境保全 —温暖化、オゾン層破壊防止等	0	0
	③資源循環 —資源の効率的な使用、リサイクル等	292,548	36,382
上流・下流コスト	省資源・ペーパーレス化	0	31,459
	廃棄物処理・処分	0	201,169
	グリーン調達、グリーン購入	0	0
管理活動コスト	サプライチェーンへの働きかけ	0	0
	機器の回収、リペア・リサイクル	0	202,072
研究開発活動	広告、教育、事業所緑化等	0	20,843
社会活動コスト	環境保全に資する製品の研究開発等	0	0
環境損傷対応コスト	地域環境支援、緑化、寄付等	0	922
その他のコスト	自然修復、損害賠償等	0	0
	排出権取引(東京都CAP & TRADE)ほか	0	829
合計		292,548	590,330

※費用額には、減価償却費を含んでいます。

○環境保全効果

分類	環境パフォーマンス(単位)	2016年度	2017年度	2018年度
事業活動に投入する資源	総エネルギー投入量(GJ)	1,276,484	1,276,123	1,257,768
	水資源投入量(千m <sup>3</sup> )	197	198	211
	紙消費量(t)	518	515	514
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> e)	81,508	76,751	74,912
	窒素酸化物排出量(kg)	14,823	12,762	13,684
	微粒子状物質(PM)排出量(kg)	332	292	311
	排水量(千m <sup>3</sup> )	197	198	211
	総廃棄物量(t)	4,661	4,629	5,335

<主な温室効果ガス削減活動と効果(当社推定によるCO<sub>2</sub>削減量)>

(単位:トン)

主な取り組み内容	2016年度	2017年度	2018年度
車両の低燃費車化	-367	-174	-396
複合機導入	-28	-26	-22
PCのシンククライアント化	-18	-7	-8
空調機入替え	-233	-268	-251
LED照明導入	-128	-31	-218
合計	-775	-506	-895

○環境保全対策における経済効果

(単位:千円)

分類	主な取り組み内容	2016年度	2017年度	2018年度
収益	有価物の売却益	8,301	9,585	9,310
費用削減	省エネルギーによる費用削減額	32,731	24,200	46,508
	リサイクルによる機器調達費用の削減額	357,043	333,294	304,533
	電子化に伴う費用削減額	230,559	245,846	247,023
合計		628,634	612,925	607,374